

平成二十一年春

七年に一度の勝縁

# 甲斐善光寺

# 御開帳

平成二十一年  
四月五日(日)～五月三十一日(日)

信濃善光寺  
飯田元善光寺  
祖父江善光寺  
関善光寺  
岐阜善光寺

同時期の御開帳となります。  
この機会にぜひご参詣下さい。

行事日程 (各日午前10時厳修)

4月 4日(土)…回向柱立柱式

4月 5日(日)…開闢大法要

5月 3日(日)…中日大法要

5月31日(日)…結願大法要

## 甲斐善光寺

お問い合わせ専用電話(午前8時30分～午後5時)

**055-231-0934**

〒400-0806 山梨県甲府市善光寺3-36-1

URL:<http://www.kai-zenkoji.or.jp/>

Email:[staff@kai-zenkoji.or.jp](mailto:staff@kai-zenkoji.or.jp)

※団体参拝は、バス駐車場確保の都合上、必ず御予約願います。

**FAX 055-231-0757**



# 御本尊善光寺如来

(重要文化財)

当山の御本尊は、建久六年(一一九五)尾張の僧定尊が、秘仏である信濃善光寺の前立仏として造立したものです。定尊は、如来の夢の告げを得て勸進に行脚し、四万八千人もの奇進を得たといわれます。本尊は、いわゆる「光三尊式善光寺如来像」の中では、在銘最古、かつ例外的に大きな等身像として著名です。善光寺の御本尊は、仏教伝来とともに将来された、生身すなわち、実際に生命が宿っている霊像として深く信じられておりました。しかし、絶対の秘仏のため、人々が拝むことはできません。そこで鑄造されたのが、本像であると考えられ、文化史的にもたいへん貴重な存在です。

平成九年春に、御本尊の八十年振りの御開帳を厳修いたしましたところ、全国より多数の善男善女が御参詣下さいました。これを機に、信濃善光寺様と同様、七年に一度の御開帳をお勤めすることとなりました。



前回平成十五年の御本尊御開帳

# 甲斐善光寺の歴史と宝物

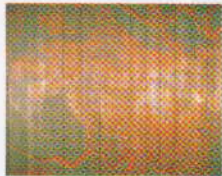
当山は、開基武田信玄公が、川中島の合戦の折、信濃善光寺の焼失を恐れ、永祿元年(一五五八)、御本尊善光寺如来像をはじめ、諸仏寺宝類を奉遷したことに始まります。

ここ板垣の郷は、善光寺建立の大檀那本田善光公葬送の地と伝えられ、信濃より大本願鏡空上人以下、一山ことごとくお迎えいたしました。その後、武田氏滅亡により、御本尊は織田・徳川・豊臣氏を転々といたしまししたが、慶長三年(一五九八)信濃に帰座なさいました。甲府では新たに、今回御開帳の前立仏を御本尊と定め、現在に至っております。かつては本坊三院十五庵を有する大寺院として浄土宗甲州触頭を勤め、徳川家の位牌所にもなっております。豪壮な七堂伽藍は、江戸時代に一度焼失いたしましたのが再建され、金堂は東日本最大級の伽藍として、山門と共に国の重要文化財に指定されております。また金堂中陣の日本一の鳴き龍の天井、裏堂のお戒壇巡りは、参詣の皆様親しまれております。

御本尊善光寺如来像以外にも、平安時代の阿弥陀三尊像二組も重要文化財に指定されております。また、日本最古の源頼朝像(県指定)ほか、法然上人像・源実朝像・熊谷直実像・本田善光夫妻像・玄和居士像(以上市指定)などの肖像彫刻、善光寺如来絵伝・当麻曇荼羅(以上県指定)・地藏十王図(市指定)などの絵画類ほか、信州伝来の銅鐘(県指定)など、文化財の宝庫としても知られております(二部宝物館にて公開)。



山門(重要文化財)



日本一の鳴き龍

最古の源頼朝・実朝木像  
(県・市指定文化財)



阿弥陀三尊像(重要文化財)

毎日3回の法要を行います。その際、御先祖様の御供養や厄除などの御祈願をお受けいたします。寺務所受付にてお申し込み下さい。

- 開 扉：午前8時
- 日中法要：正 午
- 閉 扉：午後5時

### 拝観料(金堂・宝物館)

- 大人 500円
- 小学生 250円
- 団体 30名様以上2割引

### 御開帳拝観受付時間

午前8時～午後5時



### 交通のご案内

#### 電車の場合

- JR中央線・甲府駅北口よりタクシー10分
- JR中央線・酒折駅より徒歩15分
- JR身延線・善光寺駅より徒歩7分

#### 自動車の場合

- 中央自動車道・一宮御坂I.Cより20分
- 中央自動車道・甲府南I.Cより25分
- 中央自動車道・甲府昭和I.Cより20分

